

12月4日—小學校巡回の第1回を神崎小學校で18時30分から開きました。高等科の生徒約200名を講堂へ集めて中村饒氏が幻燈應用で天體の種々の話をされました。其後觀測するつもりで7cm機3臺を校庭へ持ち出しましたが、うらめしや秋の空。先程まで良く晴れて居た空が一面の雲で觀測も出來たものではありません。生徒も私達も残念なのに涙をのみました。生徒を歸した後、出席された20名程の會員が集つて磯貝氏の北極星の傳説とカノープスの面白いお話を承り、雜談後、空が晴れたので、月、木星、火星、オリオン星雲等を觀測して散會致しました。

——以上で5年度の報告を終ります——

會計報告 昭和五年來で、會計を締切りました所、次の様な結果になりました。

出		收 入	
天界星同附録、總目、印刷費	1,683.08	會費、觀測部費	2,487.20
印刷費、簡易星圖其他	45.00	賣上、星圖其他	319.35
原稿料、別刷費用	49.10	廣 告 料	100.00
通信、運搬費、天界送料其他一切	260.67	雜益、年鑑印税其他	229.26
雜費、集會費用、封筒、用紙等	107.94		3,135.81
事 務 費	50.00		
内外出版會社掛借金返濟	600.00		
	<u>2,795.79</u>		

支出の方で前年より著しく増したのは通信費である。「星」を四種扱で發送した爲、送料は殆んど倍加して居る。又印刷所を内外出版から似玉堂へ移した爲、昔からの掛借金を返濟せねばならず、臨時に600.00の支出増となつた。収入の方は何れも多少減收であるが、「天界」の印刷費が、かなり下つた爲め多少餘裕ある結果が出て、これまでの繰越缺損を補ひ、又六年度の方針も心配なく立てる事が出来る様になつた。(池田)

事務室よりお願ひ。「天界」の見本や會則等を宣傳用として精々御使用願ひます。御一報次第、發送致しますし、又、送り先を御指定下されば、其の所あて直送致します。